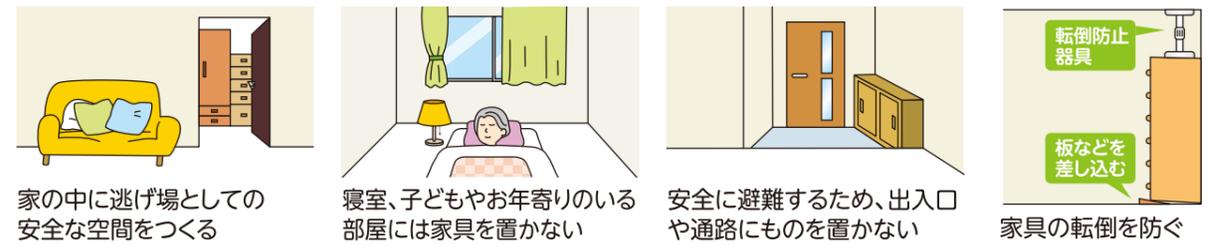


家の中の安全対策



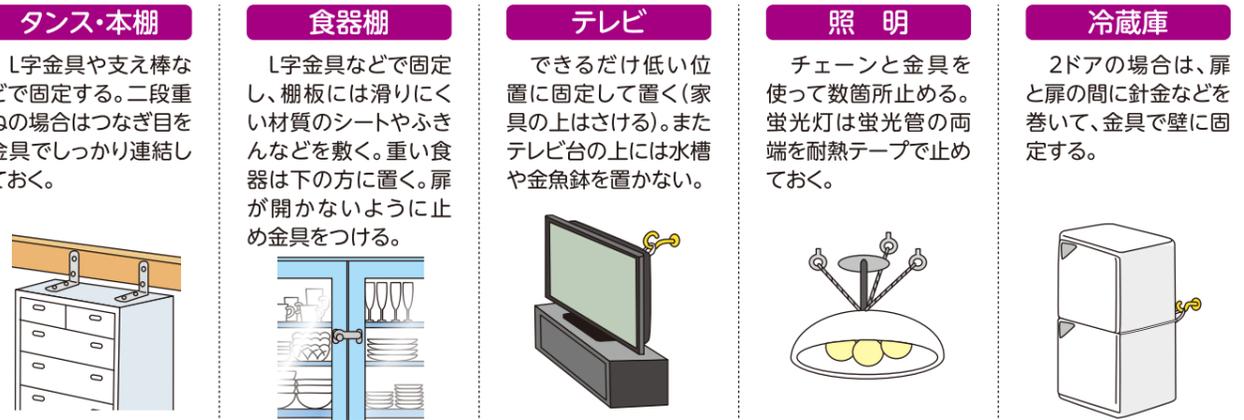
家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない

家具の転倒を防ぐ
転倒防止器具
板などを差し込む

家具の転倒、落下を防ぐポイント



ダンス・本棚
L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。

食器棚
L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。

テレビ
できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。またテレビ台の上には水槽や金魚鉢を置かない。

照明
チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。

冷蔵庫
2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。

地震から身を守るには

屋外

運転中

運転中の急ブレーキは危険です。周囲に注意しながら、徐々にスピードを落として、緊急車両の妨げにならないよう道路の左側に停車します。できれば広場へ駐車し、揺れがおさまるまでは車外に出ず、ラジオから情報を入手します。避難の際は車のキーをつけたまま、ドアをロックせずに窓を閉めます。連絡先メモを見えるところに残し、車検証や貴重品などを持って徒歩で避難します。高速道路では、非常口から徒歩で脱出します。車での避難は緊急車両の通行妨害になるのでやめましょう。



エレベーターの中

すべての階の停止ボタンを押し、最初に止まった階で降ります。ただし、降りる前にはその階の状況を確認しましょう。



電車・バスの中

電車やバスは、危険を回避するため、急停止することがあります。座席に座っている時は、姿勢を低くして頭部をバッグなどで保護し、立っている時は手すりや吊り革にしっかりつかまりましょう。停車後は、乗務員の指示に従いましょう。



山・丘陵地

登山やハイキングで山にいる時は、まず落石から身を守ります。地震で地盤がゆるみ、崩れやすくなっている可能性があるため、がけや急傾斜地などには近づかないようにしましょう。



屋内

職場

OA機器や戸棚から離れ、頭部を保護して丈夫な机の下にもぐるなどして揺れがおさまるまで身を守ります。窓ガラスが割れることもあるので、窓からは離れましょう。脱出する時は、エレベーターを使わず、外へ出る時は落下物に注意しましょう。



学校・塾

慌てて外に飛び出したり、勝手に家に帰ったりせず、先生の指示に従いましょう。教室にいる時は机の下などに隠れます。体育館や廊下、運動場などでは真ん中に集まってしゃがみます。習い事や学習塾では、先生に地震時の対応を確認しておきましょう。



デパート・スーパー

バッグや買い物かごなどで頭部を保護し、ショーケースなど倒れやすいものから離れましょう。あわてて出口に殺到せず、エレベーターホールや陳列商品の少ない場所、丈夫な柱付近に避難し、係員の指示に従います。エレベーターが動いていても、絶対に使わないようにしましょう。

地下街

火災が発生しなければ比較的 안전한場所なので、バッグなどで頭部を保護して揺れがおさまるのを待ちます。停電になっても非常灯がつくまで動かず、脱出する時は、壁づたいに歩いて避難します。



映画館・劇場

バッグなどで頭部を保護し、座席の間に身を隠して揺れがおさまるのを待ちます。停電しても誘導灯や非常灯がつきますので、係員の指示に従い落ち着いて避難しましょう。



通電火災

通電火災とは、停電後、復旧した際の再通電時に発生が懸念される火災です。

- 地震の揺れや建物の倒壊、浸水や雨漏りによる電化製品の基盤等の損傷により、再通電時にショートが生じ、発火する。
- 転倒したヒーターや照明器具(白熱灯など)が可燃物に接触した状態で再通電し、着火する。
- 落下したカーテンや洗濯物といった可燃物がヒーターに接触した状態で再通電し、着火する。
- 再通電時に発生した電氣的火花により、漏れ出たガスに引火・爆発する。コンセントに水分が付着し、再通電時にトラッキングが生じ発火する。



ベッドに引火

タンスなどの倒壊

電気製品の倒壊

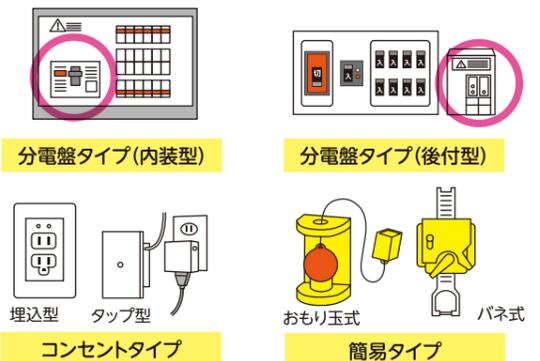
スパークによる発熱・発火

器具破損等

電気火災対策には、感震ブレーカーが効果的です。

「感震ブレーカー」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

主な感震ブレーカーの種類



分電盤タイプ(内装型)

分電盤タイプ(後付型)

埋込型 タップ型

おもり玉式 パネ式

コンセントタイプ

簡易タイプ